

上智大学国際言語情報研究所 ベネッセ教育総合研究所 ARCLE 共催  
英語教育オンラインセミナー  
2023年10月15日（日）

# ICTの活用が書くことへの 意識や意欲に及ぼす影響 —ライティングの授業実践において—

工藤 洋路（玉川大学） [ykudo@lit.tamagawa.ac.jp](mailto:ykudo@lit.tamagawa.ac.jp)

津久井 貴之（群馬大学） [takayuki.tsukui@gunma-u.ac.jp](mailto:takayuki.tsukui@gunma-u.ac.jp)

本発表は、「2023年度全国英語教育学会（JASELE）第48回香川研究大会」及び「2023年度英語授業研究学会 第34回全国大会」での発表の抜粋です。両学会発表の資料は、[https://www.arcle.jp/research/edu\\_english/2023/](https://www.arcle.jp/research/edu_english/2023/) から閲覧できます。

# 研究の背景

- 実践者は、高校の「論理・表現Ⅰ」で、ライティングへの抵抗感を持つ生徒がいることに気が付いた。
- 2学期から、次の課題および目標を設定した。
  - 「論理・表現Ⅰ」では、ライティングにフォーカスする。
  - ICTを活用することを通して、より良いライティング学習を行い、その結果、ライティングに対する不安や抵抗感を軽減し、書く意欲を向上させたい。
  - GoogleのJamboard（デジタルホワイトボード）及びDocument（オンライン文章作成ツール）のより一層の効果的活用を試行したい。
  - ペアワークやグループワークも取り入れながら、調べた情報や意見や考えなどを共有する機会も多く取り入れ、協働性を高めることも行っていきたい。

# 研究の種類および研究課題

本研究は、

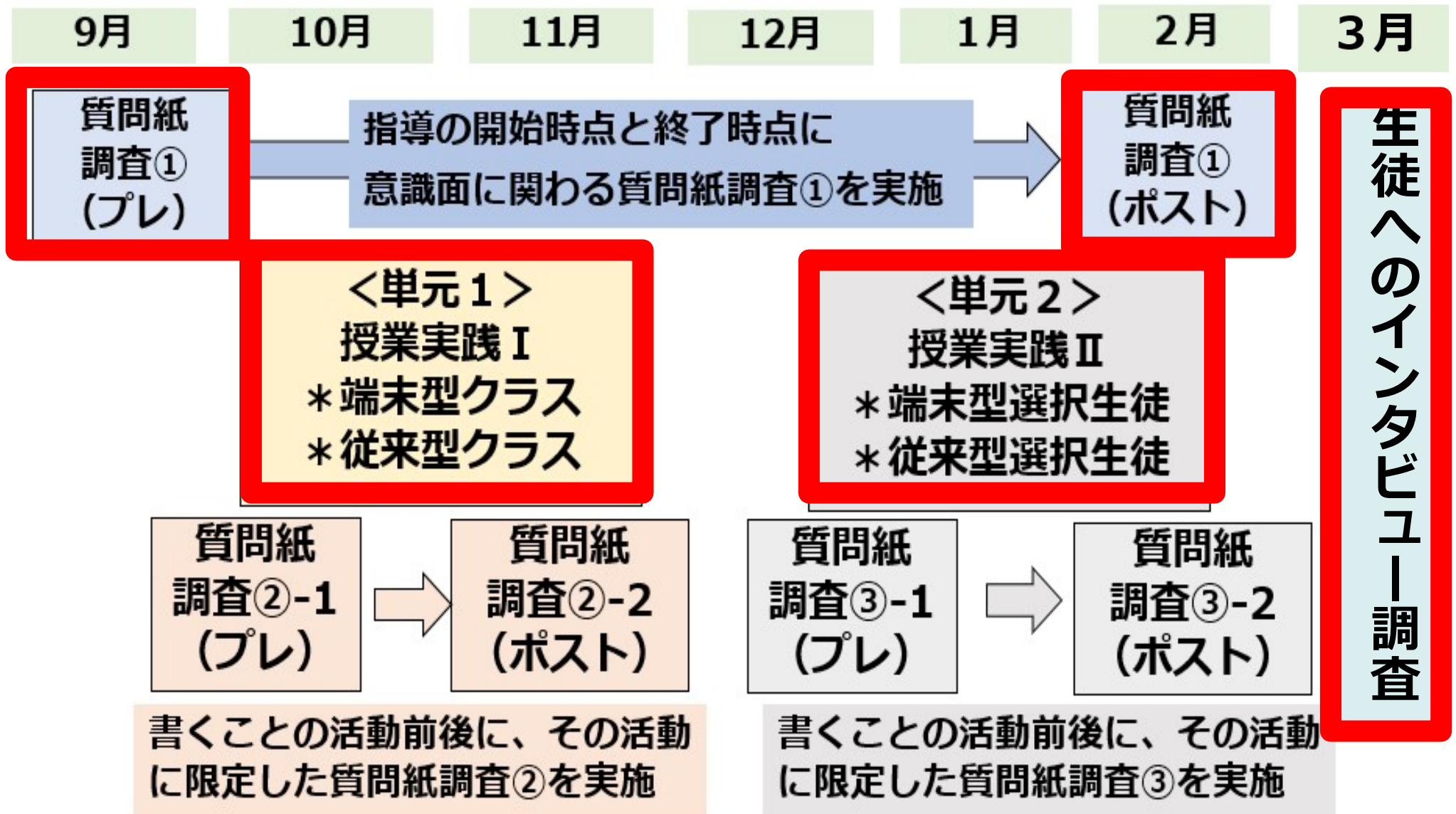
- ① 実践者が自身の授業改善を目指して取り組む点においては「アクションリサーチ」
- ② 研究者が指導と生徒の変容の関係性を調査をする点においては「実証的な要素を持つ研究」

の二面性を持つ。

本研究では、次の研究課題を設定した。

⇒ ICT活用の有無や活用方法の違いによって、生徒のライティングへの意識や意欲に違いが生じるか。

# 研究の全体像



- \* 端末型…DocumentとJamboardを使った学習
- \* 従来型…紙のワークシートを使った学習

# 端末型学習と従来型学習

	単元 1	単元 2	合計 人数
端末型	4 組全員 (3 6)	4 組希望者 (3 6) 2 組希望者 (2 0)	5 6 名
従来型	2 組全員 (3 5)	2 組希望者 (1 5)	1 5 名

- ◆ 1つ以上の単元で端末型の学習をした生徒：56名
- ◇ 両方の単元で従来型の学習をした生徒：15名

# 質問紙調査（プレとポスト）

- ライティングに関わる生徒の意識や意欲などを詳細に尋ねる項目を複数設定した（項目の詳細は後述）。
- 項目を作成するにあたって、writing anxietyやwriting apprehension の研究を行ったDaly & Miller (1975)、Cornwell & McKay (2000)、Cheng (2004)などを参考にした。
- 各項目への回答は4件法とし、以下のように回答を1～4の数値に置き換えて、分析を行った。
  - 「4：とてもそう思う」
  - 「3：まあそう思う」
  - 「2：あまりそう思わない」
  - 「1：全くそう思わない」
- 回答した生徒は計71名（端末型：56名／従来型：15名）

# 質問紙調査の項目と結果①（端末型：56名分）

	項目	プレ	ポスト	差
1	英語の文を正確に書くのが難しい。	3.36	3.39	0.04
2	ある程度の分量が求められる文章（パラグラフ）を英語で書くのが難しい。	3.14	3.00	-0.14
3	自分の意見や考えなどを英語で書くことに抵抗感がある。	2.45	2.07	-0.38
4	自分の気持ちや考えなどを英語で書くのが楽しい。	2.75	2.84	0.09
5	「論理・表現I」の授業で【プレ】／これからの英語の授業で【ポスト】もっと英語で書く「練習」（例：例文を写す，問題を解く等）をしてみたい。	3.00	3.11	0.11
6	「論理・表現I」の授業で【プレ】／これからの英語の授業で【ポスト】もっと英語で書く「活動」（例：自分の意見や考えなどを書く等）をしてみたい。	3.23	3.18	-0.05
7	英語で書けるようになるために，まずは単語や文法を学習することが大切だと思う。	3.71	3.64	-0.07
8	単語や文法を覚えるには，書く「練習」（例：例文写し，問題演習等）をするのが大切だと思う。	3.23	3.32	0.09
9	単語や文法を覚えるには，書く「活動」（例：自分の意見や考えを書く等）をするのが大切だと思う。	3.41	3.46	0.05

## 質問紙調査の項目と結果②（端末型：56名分）

	項目	プレ	ポスト	差
10	英語を勉強する上で、自分の意見や考えなどを英語でたくさん書くことは大切だと思う。	3.61	3.68	0.07
11	将来、英語が使えるようになるために、自分の意見や考えなどを英語でたくさん書くことは大切だと思う。	3.70	3.70	0.00
12	大学入試の英語の試験で良い点数をとるために、自分の意見や考えなどを英語でたくさん書くことは大切だと思う。	3.75	3.48	-0.27
13	先生や友だちに英語で自分が書いたものを読んでもらいたいと思う。	2.57	3.04	0.46
14	先生や友だちに自分が書いたものに対してコメントをもらうのは嬉しい。	3.07	3.34	0.27
15	海外の友人など、英語で書いてやり取りする相手がほしい（既にいる人はもっとほしい）。	3.05	3.18	0.13
16	友だちが書いたものを読んだとき、表現や書き方などを真似してみたいと思う。	3.29	3.30	0.02
17	友だちが書いたものを読むことは楽しい。	3.18	3.13	-0.05



# 【端末型】 因子分析によるプレとポストの比較

プレ	因子					
	1	2	3	4	5	6
1. 英語の文を正確に書くのが難しい.	0.247	0.583	0.169	-0.083	0.023	-0.132
2. ある程度の分量が求められる文章（パラグラフ）を英語で書くのが難しい.	-0.053	1.046	0.039	0.127	0.147	0.145
3. 自分の意見や考えなどを英語で書くことに抵抗感がある.	-0.005	0.399	-0.124	-0.178	-0.103	0.037
4. 自分の気持ちや考えなどを英語で書くのが楽しい.	-0.225	-0.148	0.047	0.969	-0.102	-0.026
5. これからの英語の授業でもっと英語で書く「練習」（例：例文を写す、問題を解く等）をしてみたい.	-0.195	0.041	0.970	-0.068	0.231	-0.087
6. これからの英語の授業でもっと英語で書く「活動」（例：自分の意見や考えなどを書く等）をしてみたい.	0.380	-0.138	0.425	0.146	-0.006	-0.133
7. 英語で書けるようになるために、まずは単語や文法を学習することが大切だと思う.	0.096	0.089	0.261	0.032	-0.095	-0.004
8. 単語や文法を覚えるには、書く「練習」（例：例文写し、問題演習等）をするのが大切だと思う.	-0.121	0.245	0.209	-0.053	0.458	0.042
9. 単語や文法を覚えるには、書く「活動」（例：自分の意見や考えを書く等）をするのが大切だと思う.	-0.229	0.026	-0.118	0.093	-0.014	0.547
10. 英語を勉強する上で、自分の意見や考えなどを英語でたくさん書くことは大切だと思う.	0.096	0.078	0.016	-0.115	0.124	0.747
11. 将来、英語が使えるようになるために、自分の意見や考えなどを英語でたくさん書くことは大切だと思う.	0.422	-0.078	0.217	0.162	-0.249	0.356
12. 大学入試の英語の試験で良い点数をとるために、自分の意見や考えなどを英語でたくさん書くことは大切だと思う.	0.613	-0.070	-0.013	-0.219	-0.077	0.136
13. 先生や友だちに英語で自分が書いたものを読んでもらいたいと思う.	0.140	-0.200	-0.145	0.057	0.861	-0.008
14. 先生や友だちに自分が書いたものに対してコメントをもらうのは嬉しい.	0.247	0.180	-0.097	0.514	0.185	0.144
15. 海外の友人など、英語で書いてやり取りする相手がほしい（既にいる人はもっとほしい）.	0.227	-0.288	0.073	0.094	0.097	0.190
16. 友だちが書いたものを読んだとき、表現や書き方などを真似してみたいと思う.	0.757	-0.009	0.075	-0.074	0.102	-0.081
17. 友だちが書いたものを読むことは楽しい.	0.903	0.214	-0.122	0.063	-0.051	-0.290

# 【端末型】 因子分析によるプレとポストの比較

ポスト	因子				
	1	2	3	4	5
1. 英語の文を正確に書くのが難しい.	0.271	-0.040	-0.369	0.456	-0.021
2. ある程度の分量が求められる文章（パラグラフ）を英語で書くのが難しい.	-0.224	-0.026	0.102	0.977	0.143
3. 自分の意見や考えなどを英語で書くことに抵抗感がある.	0.338	-0.784	-0.105	0.104	-0.076
4. 自分の気持ちや考えなどを英語で書くのが楽しい.	-0.012	0.818	-0.190	-0.057	0.380
5. これからの英語の授業でもっと英語で書く「練習」（例：例文を写す、問題を解く等）をしてみたい.	0.445	0.100	0.117	-0.019	0.231
6. これからの英語の授業でもっと英語で書く「活動」（例：自分の意見や考えなどを書く等）をしてみたい.	0.355	0.506	0.113	0.058	-0.059
7. 英語で書けるようになるために、まずは単語や文法を学習することが大切だと思う.	0.196	0.048	0.036	0.043	0.526
8. 単語や文法を覚えるには、書く「練習」（例：例文写し、問題演習等）をするのが大切だと思う.	0.209	-0.050	0.115	0.187	0.384
9. 単語や文法を覚えるには、書く「活動」（例：自分の意見や考えを書く等）をするのが大切だと思う.	0.299	0.238	0.096	-0.058	0.214
10. 英語を勉強する上で、自分の意見や考えなどを英語でたくさん書くことは大切だと思う.	0.791	-0.074	-0.031	0.047	0.145
11. 将来、英語が使えるようになるために、自分の意見や考えなどを英語でたくさん書くことは大切だと思う.	0.757	0.026	-0.071	-0.038	0.208
12. 大学入試の英語の試験で良い点数をとるために、自分の意見や考えなどを英語でたくさん書くことは大切だと思う.	0.867	-0.272	0.132	-0.089	0.029
13. 先生や友だちに英語で自分が書いたものを読んでもらいたいと思う.	0.075	0.792	0.093	0.066	-0.271
14. 先生や友だちに自分が書いたものに対してコメントをもらうのは嬉しい.	0.375	0.441	0.048	0.118	-0.118
15. 海外の友人など、英語で書いてやり取りする相手がほしい（既にいる人はもっとほしい）.	0.003	0.143	0.507	-0.089	0.026
16. 友だちが書いたものを読んだとき、表現や書き方などを真似してみたいと思う.	0.045	-0.048	0.991	0.009	0.144
17. 友だちが書いたものを読むことは楽しい.	0.300	0.071	0.462	-0.062	-0.136

# 【端末型】 因子分析によるプレとポストの比較

プレ	英語の文を正確に書くのが <b>難しい</b> 。
	ある程度の分量が求められる文章（パラグラフ）を英語で書くのが <b>難しい</b> 。
	自分の意見や考えなどを英語で書くことに <b>抵抗感</b> がある。
ポスト	自分の意見や考えなどを英語で書くことに <b>抵抗感</b> がある。
	これからの英語の授業でもっと英語で書く「練習」（例：例文を写す、問題を解く等）を <b>してみたい</b> 。
	単語や文法を覚えるには、書く「活動」（例：自分の意見や考えを書く等）をするのが <b>大切だ</b> と思う。
	英語を勉強する上で、自分の意見や考えなどを英語でたくさん書くことは <b>大切だ</b> と思う。
	将来、英語が使えるようになるために、自分の意見や考えなどを英語でたくさん書くことは <b>大切だ</b> と思う。
大学入試の英語の試験で良い点数をとるために、自分の意見や考えなどを英語でたくさん書くことは <b>大切だ</b> と思う。	

# 【参考】学習方法ごとの変容の特徴

項目	端末型 Document Jamboard (56名)			従来型 紙のワークシート (15名)			
	プレ	ポスト	差	プレ	ポスト	差	
2	ある程度の分量が求められる文章（パラグラフ）を英語で書くのが難しい。	3.14	3.00	-0.14	3.20	2.67	-0.53
3	自分の意見や考えなどを英語で書くことに抵抗感がある。	2.45	2.07	-0.38	2.00	2.00	0.00
9	単語や文法を覚えるには、書く「活動」（例：自分の意見や考えを書く等）をするのが大切だと思う。	3.41	3.46	0.05	3.33	3.73	0.40
13	先生や友だちに英語で自分が書いたものを読んでもらいたいと思う。	2.57	3.04	0.46	2.73	3.07	0.33
14	先生や友だちに自分が書いたものに対してコメントをもらうのは嬉しい。	3.07	3.34	0.27	2.87	3.67	0.80
16	友だちが書いたものを読んだとき、表現や書き方などを真似してみたいと思う。	3.29	3.30	0.02	3.53	3.87	0.33

# 質問紙調査の結果の概要

ICT活用をした生徒 → ライティングへの抵抗感の軽減

事前：書くことのへの難しさの意識 + 書くことへの抵抗感

事後：抵抗感 + ライティング学習への肯定的な意識

## 教育的示唆

- 共有可能でインタラクティブな利用可能なオンラインツールの使用の意義は高い
- 一覧性の高い紙のワークシートを使って、手書きでコメント等を交換する意義もある

# 授業観察および授業者ヒアリングによる 「端末型」と「従来型」の比較

	端末型学習 (Jamboard・ドキュメント 等使用)	従来型学習 (紙のワークシート使用)
ツールの 特徴や 印象	<ul style="list-style-type: none"><li>■ プロセスの可視化・共有がしやすい (単語・フレーズレベルでしか言語化できないアイデアも載せやすい)</li><li>■ 色の影響もあり, 視覚的に華やかな印象</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ しっかり英文を書く フォーマルな学習を行う</li><li>■ 手書きなので, 生徒の人の柄が見える気がする… (手書きも捨てる難しい・・・)</li></ul>
使用言語とアウト プット 傾向	<ul style="list-style-type: none"><li>■ (事前の指示がなかったため) 自然に日本語での共有になったため, 多くのアイデアが出た結果, それを整理するための教師のサポートが必要になった</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ シートでは, 活動の指示や質問などが英語で書かれているため, 生徒も自然に英語で書いていた</li></ul>

	<b>端末型学習 (Jamboard・ドキュメント等 使用)</b>	<b>従来型学習 (紙のワークシート使用)</b>
協働学習の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 授業外も含めて、常に共有が可能で、共有作業と個人作業が同時進行する</li> <li>■ 生徒間でカジュアルな意見交換がしやすい (SNSの影響か)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 共有は授業内で教師が指定するタイミングで行う</li> <li>■ シートを交換し合って、個別作業でコメントを書く</li> </ul>
必要なスキル	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 多様なモードの作業を一度に行うスキル (= multi-modal)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1つのモードの作業を集中して行うスキル (= uni-modal)</li> </ul>
指導や教師コントロール	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学習状況に関する多様な情報をいつでも閲覧可能 (オンライン指導)</li> <li>■ 机間指導と画面指導のバランスが必要 (教室にいるのに画面指導だけだと罪悪感がある…)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 机間指導には限界があるため、提出後に個別に確認 (オフライン指導)</li> <li>■ 教室内での全体指導と机間指導のバランスが必要</li> </ul>

# 参考文献

ベネッセ教育総合研究所 (2023). 『「小中高校の学習指導に関する調査2022」ダイジェスト版』 ベネッセ教育総合研究所.

Cheng, Y. S. (2004). A measure of second language writing anxiety: Scale development and preliminary validation. *Journal of Second Language Writing*, 13, 313-335.

Cornwell, M. & McKay, T. (2000). Establishing a valid, reliable measure of writing apprehension for Japanese students. *JALT Journal*, 22 (1), 114-139.

Daly, J. A. & Miller, M. D. (1975). The empirical development of an instrument to measure writing apprehension. *Research in the Teaching of English*, 9 (3), 242-249.